

取扱説明書



MINIMIC MIC800

Ultra-Compact Microphone Modeling Preamp

目次

安全にお使いいただくために	3
法的放棄	3
限定保証	4
1. はじめに	5
1.1 ご使用の前に	5
1.1.1 出荷.....	5
1.1.2 スタートアップ.....	5
2. 操作機構	5
2.1 MIC800 のご使用に関する	5
2.1.1 MIC800 出力	5
2.1.2 MIC800 出力.....	5
2.2 フロントパネル	5
2.3 リアパネル	8
3. セットアップ	9
4. オーディオ接続	9
5. テクニカルデータ	11
6. MINI シリーズの他の商品	12

JP 安全にお使いいただくために



注意

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (¼" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。



注意

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。



注意

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。



注意

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。



注意

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。

6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。

7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。

8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついていきます。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電器技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。

12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるよう手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したのみをお使いください。



14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となる

もののみをお使いください。カートを使用しての運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いただけません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

法的放棄

技術的な仕様および製品の外觀は予告なく変更される場合があります。またその内容の正確性について、いかなる保証をするものではありません。BEHRINGER, KLARK TEKNIK, MIDAS, BUGERA, および TURBOSOUND は、MUSIC GROUP (MUSIC-GROUP.COM) のブランドです。すべての商標はそれぞれの所有者の財産です。MUSIC GROUP は、ここに含まれたすべて、もしくは一部の記述、画像および声明を基にお客様が起こした行動によって生じたいかなる損害・不利益等に関しても一切の責任を負いません。色およびスペックが製品と微妙に異なる場合があります。MUSIC GROUP 製品の販売は、当社の正規代

JP

理店のみが行っています。ディストリビューターとディーラーは MUSIC GROUP の代理人ではなく、あらゆる表現、暗示された約束、説明等によって MUSIC GROUP を拘束する権利はまったくありません。この説明書は、著作権保護されています。本取扱説明書に記載された情報内容は、MUSIC GROUP IP LTD. からの書面による事前の許諾がない限り、いかなる利用者也これを複製、使用、変更、送信、頒布、入れ替え、工作することは禁じられています。

製権所有

© 2013 MUSIC Group IP Ltd.

Trident Chambers, Wickhams Cay,
P.O. Box 146, Road Town, Tortola,
British Virgin Islands

限定保証

適用される保証条件と MUSIC Group の限定保証に関する概要については、オンライン上 www.music-group.com/warranty にて詳細をご確認ください。

1. はじめに

MINIMIC MIC800 は楽器とマイク、演奏室レベルのマイクまでに用いられる前置音声拡大器というものです。このような緊密な装置における中核は分立した部品を使用されて極めて透明感のある音声を生じられ、しかも騒音が低い回路を使用されています。

MIC800 が前置拡大器を設置され、極めて上達な音楽ツールと認められる。打楽器の中で驚異的な打撃の効果を生むことができるし、高い和声の豊富な楽器が更に透明な音声になり、暖かく、きめ細かく高く聞こえます。より良いローエンドの相違が感じられ、自分なりの楽器を確定できるように約に立ちます。そのほか、オーディオオペランプを感じられるが他の音を覆い隠さない。だからこ音声を完璧に混和されています。

我々のエンジニアチームは革新的な VTC (仮想電子管回路) を開発し、楽器の伝統電子管拡大器にオリジナルな独特さを与えました。MIC800 が BEHRINGER の出力制限器を設置され、出力信号のヒズミを予防します。逆フェーズ、幻パワー、20 dB 低音とローカットフィルターなどそのほかの性能によって MIC800 がもっと強くなりました。

◇ 参照するため、取扱書を通してご覧し、大切に保管してください。

1.1 ご使用の前に

1.1.1 出荷

MIC800 は、安全な輸送のために工場出荷時に十分な注意を払って梱包されていますが、万が一包装ダンボールに損傷が見られた場合には、装置外面部の損傷もご確認ください。

- ◇ 装置が万一損傷している場合には、保証請求権が無効となる恐れがありますので、製品を当社へ直接返送せず、必ず販売代理店および運送会社へご連絡ください。
- ◇ 本製品の保管や運送の際には、製品への損傷を避けるため、常にオリジナルの梱包を使用するようにしてください。
- ◇ 製品および梱包材などは、お子様の手の届かないところに保管してください。
- ◇ 梱包材などの環境保護に適した廃棄を心がけてください

1.1.2 スタートアップ

熱を発生する恐れのあるアンプなどの機器上に MIC800 を設置しないでください。MIC800 の上部パネルにある通風口をふさがないようにご注意ください。MIC800 に電源を供給する際には、本機に付属されている電源ユニットを必ずご使用ください。

- ◇ 電波の強い放送局や高周波音源の範囲内では、音質が減退する可能性があります。その場合は、送信機と機器の距離を離し、すべての接続にシールドケーブルを使用してください。

2. 操作機構

本章の冒頭に MIC800 の取り扱いとお手入れの方法について記載されています。具体的な内容は:

- MIC800 の性能につき、2.2 の前のパネルをご参照ください
- MIC800 の手入れに付き、2.3 の裏のパネルをご参照ください
- MIC800 のセットアップおよび操作は必ず資格のある方が行なうようにしてください。

2.1 MIC800 のご使用に関する

マイク及びギターとベースなど楽器から低電力レベルの信号が流しだします。ただ、殆どのボイスキャンセラーは回路における電器レベルの信号しか処理できなく、放送室は平均 +4 dBu と設置されるが、高保真と家庭用録音は -10 dBV に設置されます。例えば、マイクの出力は直接にコンプレッサーに接続することが出来ません。ボーカルエンハンスメントが必須になったら、それこそ MIC800 だと違いません。

MIC800 が低いレベルの信号を受け止めたら、MIC800 は直ちにその信号をラインレベルまでに上げることになっています。MIC800 がラインレベルを他のボーカルエンハンスメントに出力する場合、下の通りを調整できます:

- 周波信号のレベルと極性を調整します
- 周波信号に温もり感とそのほかの特性を与えます

2.1.1 MIC800 出力

MIC800 が下のタイプのボーカルエンハンスメントで低いレベルの信号を受け止めます:

- 音声と一部の楽器の音声を電力のマイクに変換します
- 殆どの電子楽器に使い、「例えば、電子ギターとベース」の入力信号の直接入力ボックス

それらの信号はモノラルの場合、MIC800 がラインレベルの信号を受けられる。信号のオーディオ設備の例示は部分のタイプのキーボードとサウンド・カードを含みます。本ファイルにおける MIC800 の発信信号は入力信号と言います。

2.1.2 MIC800 出力

MIC800 が殆どのオーディオ設備にレベル信号を発信できます。例えば、コンプレッサー、混じる音器、多いトラックのテープ・レコーダー、パワー増幅器等を含みます。本ファイルにおける MIC800 の発信信号は出力信号と言います。

2.2 フロントパネル

本節に MIC800 の前のパネルを如何に使用することを説明します、下の図の通りです:

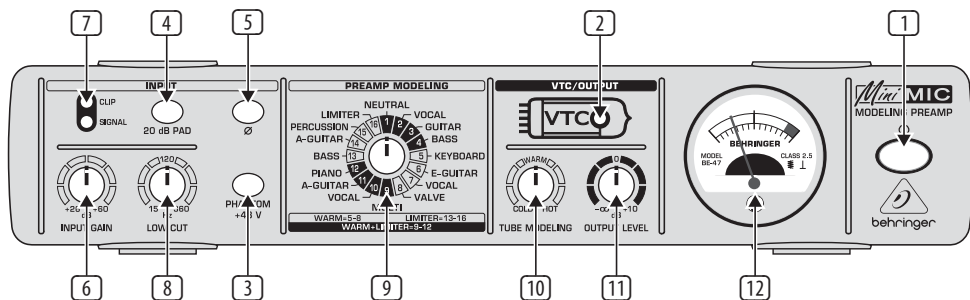


図 2.1: MIC800 前のパネル

上図では、それぞれの操作部に対する番号が記載されています。この章ではこれらの番号に基づいてそれぞれの操作部の詳細機能を紹介しています。イラスト番号 ③～⑫ は MIC800 の信号経路を順に追って説明しています。これは PHANTOM +48V ボタン ③ が信号経路における最初の機能を示し、VU メーター ⑫ は信号経路の最後の信号を示します。

ボタンに関する

一部の MIC800 コントロール元素はボタンです。そのボタンを:

- 押し当てたら、関係する機能を果します
- 押さなくて光らない場合、関係する機能を果しません、

本節における下の内容は MIC800 のコントロール元素について紹介します:

◇ MIC800 をオープンする前に、INPUT GAIN コントロールキーを +26 dB まで回してください (最小の設置)。

上図では、それぞれの操作部に対して ① などの番号が記載されています。この章ではこれらの番号に基づいてそれぞれの操作部の詳細機能を紹介しています。

フロントパネル上には、それぞれの入力チャンネル (A および B) に対して ① および ② のコントローラーが装備されています。これらのそれぞれの入力チャンネル信号を調整する際には、これらのコントローラーを使用します。

① **電源 ボタン:** MIC800 をオンとオフにすると、このボタンを押してください。

② **VTC LED:** MIC800 をオンにしたら、MIC800 が光ってき、VTC (マナログ電子管回路) が起動されます。VTC は BEHRINGER アナログの技術、伝統の電子管の電気回路のぬくもり感をなぞらえ似せます。ここで温もり感は電子管回路が周波数信号の高音に添えられることを指します。高音信号はエネルギー、透明と慎重な高さを提供します。

MIC800 に立て上げた温もり感を調整すれば、TUBE MODELING のコントロールキーを使用してください (⑩)。

③ **PHANTOM +48V ボタン:** コンデンサーマイクを MIC800 に接続するときは、このボタンを押してファンタム電源をオンにしてください。ファンタム電源はマイクに必要な +48V を提供します。ダイナミックマイクにはファンタム電源は必要ありません。

◇ **幻送電をオンにする前に、蓄電器マイクを MIC800 に接続してください。また全ての拡声器を消音します。**

④ **20 dB PAD ボタン:** 入力感度を 20 dB 減少させるには、このボタンを押してください。但しマイクの入力感度を減少させることは、お勧めできません。

⑤ **0 (フェーズシフト) ボタン:** 位相によって音声が入り消されるフェーズキャンセラレーションの場合、このボタンを押してフェーズシフト機能を起動させます。この機能によって、入力された信号の位相を 180 度反転します。フェーズキャンセラレーションは出力信号とその他の信号を合わせ、互いの信号が打ち消しあうことでこのような症状が起きます。

⑥ **INPUT GAIN コントロール:** 入力信号をブーストする際、このコントロールを +26 dB (最小の設置) か +60 dB (最大の設置) に回してください。ゆっくり信号のレベルを上げてください。

⑦ **SIGNAL/CLIP メーター:** 入力信号をモニターする際、このメーターを使用してください。通常では、イリミネーション LED が点灯されています。

- SIGNAL: この状態では、MIC800 は入力信号を受けています。

- CLIP: MIC800 は入力信号のクリップ状態を示します。もしこの LED が:

- 時々点灯する場合、MIC800 の入力信号における一部がクリップしたことを示します。
- 常に点灯する場合、MIC800 の入力信号における殆どのレベルが高すぎます。

◇ **入力信号のレベルを下げたら、INPUT GAIN コントロールキーをご使用ください。もしこのコントロールキーを +26 dB (最小設置) にセッティングされたら、カットが引き続き発生し、20 dB PAD ボタンで低音をオンにしてください。**

- ⑧ **LOW CUT** コントロール: フローノイズやその他の不要な低周波数をカットするには、このコントロールを 15 Hz (最小) から 360 Hz (最大) の間に回してください。
- ⑨ **PREAMP MODELING** コントロール: プリアンプモデルを選ぶには、このコントロールを回してください、様々なプリアンプモデルを選択できます。

前置拡大器モデルについて紹介

ときどき、一つの周波信号がご必用になる特性を持ちません。例えば、音声に一致性かベースの豊かさが足りません。信号の形が正しくありません。MIC800 で、必要な特性を説明できる前置拡大器モデルを選んでください。MIC800 が周波信号の形を変えてあげます。

BEHRINGER は特定の入力源として (ギター、音声など) たくさん前置拡大器モデルを立ち上げます。ただし、これらのモデルは特定なニーズか特定の応用に満足できなければ、前置拡大器を音声処理の起点年、テストを行い、オリジナルな音声効果を作ってください。下記の文書は前置拡大器モデルに関する全ての明細を記載されています。

前置拡大器モデル

純粹自然な声を出しただけで、下表の通りに NEUTRAL (中性) を設置してください:

プリアンプモデル	説明
1 NEUTRAL	ピュアで自然なサウンド
2 VOCAL	ボーカルに適した自然ながら歯切れの良いサウンド
3 GUITAR	ギターに適した自然ながらブライトなサウンド
4 BASS	ベースギターに適した自然ながら豊かな持つサウンド

前置拡大器モデル

ぬくもりを出力すれば、下表に載せられた WARM (温もり) の設置の通りにしてください:

プリアンプモデル	説明
5 KEYBOARD	キーボードに適した滑らかなサウンド
6 E-GUITAR	エレキギターに適したウォームでアコースティックなサウンド
7 VOCAL	ボーカルに適した温かみと必要な密度を満たしたサウンド
8 VALVE	様々な信号に適した温かみのある真空管サウンド

前置拡大器モデル

下の表に説明した WARM-LIMITER (温もり制限器) の通りに設置してください:

- 低音の充実感と現場感の温もりを提供します
- 高音量と信号のピーク値を制限します

プリアンプモデル	説明
9 MULTI	様々な信号に適した温かみのあるアナログサウンド
10 VOCAL	ボーカルに適した温かみと必要な密度を満たしたサウンド
11 A-GUITAR	アコースティックギターに適した温かくソフトな明るいサウンド
12 PIANO	ピアノに適した輝きと温かみのあるソフトなサウンド

前置拡大器モデル

下表に説明した LIMITER (制限器) の通りに設置してください:

- 低い音調に感と現場の感の平らで滑らかさ、一致する音が豊富なことを提供することを出力します
- 高音量と信号のピーク値を制限します

プリアンプモデル	説明
13 BASS	ベースギターに適した滑らかで豊かなベースサウンド
14 A-GUITAR	アコースティックギターに適した必要な密度を満たしたソフトなサウンド
15 PERCUSSION	打楽器に適したはっきりとしたパンチのあるサウンド
16 LIMITER	ボーカル及び様々な信号に適したコンパクトなサウンド

- ⑩ **TUBE MODELING** コントロールキー: MIC800 が入力信号に与えた電子温もり感を調節すれば、このコントロールキーを COLD (最小設置、無温もり感) または HOT (最大温もり感) に回してください。温もり感に関する明細に付き、2 VTC LED を参照ください。
- ⑪ **OUTPUT LEVEL** コントロールキー: 出力信号のレベルを調整すれば、このコントロールキーを -∞ dB (出力信号なし) または +10 dB (最大レベル) に調整してください。
- ⑫ **VU はかり**: 出力信号の平均レベルをコントロールするためにこのような dB 目盛り付きの伝統的なはかりを使用してください。オーディオ装置の標準レベルは 0 (ゼロ) dB であるため、出力信号の最高のレベルと認められます。0 dB の場合、MIC800 がまだ約 15 dB の余裕を持っています。

2.3 リアパネル

本節に如何に裏パネルで MIC800 を設置することを記載されています。

- ◇ 合格な要員に MIC800 を設置と操作されることを確保します。
- ◇ MIC800 を設置する前に MIC800 をオフにしてください。ほかには、INPUT GAIN キーを +26 dB (最小設置) に回してください。

下図は MIC800 の裏パネルです:

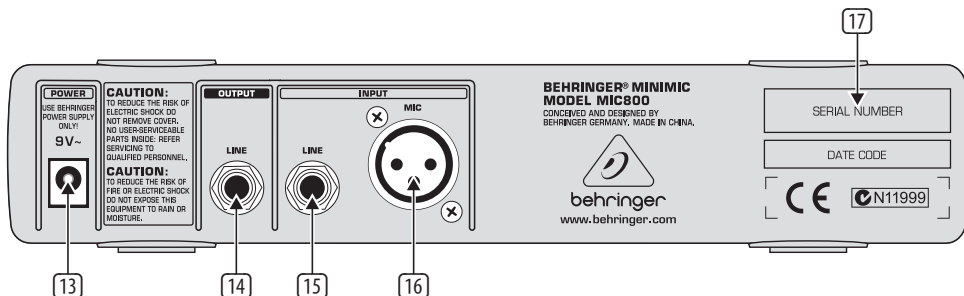


図 2.2: MIC800 裏パネル

この前の挿絵の中で、全てのコントロール元素と挿絵の番号にかかわり、例えば、[⑨](#)。次の節にこれらの挿絵番号で快速に全てのコントロール元素の詳しい情報を確定します:

- ⑬ POWER** コネクター MIC800 に電源を供給するには、このコネクターにパワーサブライユニットを接続してください。パワーサブライユニットは MIC800 に付属されています。
- ◇ MIC800 を使用後、電源から給電装置を取り外してください。給電装置が電源に接続したら、電力の消費が始まります。
- ⑭ OUTPUT LINE 接続器:** MIC800 から周波信号を出力すると、 $\frac{1}{4}$ " TS (非バランス式) 接続器をご使用ください。この前の挿絵の通り、MIC800 が 2 つの入力接続器 ([⑮](#) と [⑱](#)) を含みます。
- ◇ 同時に二つの入力接続器を使用することをお推奨しません。
- ⑮ INPUT LINE 接続器:** 一つのラインのレベル信号を MIC800 に入力すれば、まずこの $\frac{1}{4}$ " TRS (バランス) を接続してください。ラインレベルは必ずモノラルだと確保してください。詳細に付き、2.1.1 MIC800 入力をご参照ください。
- ◇ ラインレベル電源の接続器に非バランス式 $\frac{1}{4}$ " TS プラグを挿入する場合、信号レベルが平均的に 6 dB を上げます。信号レベルを高めると、INPUT GAIN コントロールキーを使用してください ([⑬](#))。

- ⑯ INPUT MIC 接続器:** 低いレベルの信号を MIC800 に入力する場合、この XLR (バランス) 接続器を使用してください。低いレベルの信号は必ずモノラルです。詳細につき、2.1.1 MIC800 入力をご参照ください。
- ◇ つの蓄電器の容量のマイクを設ける時、以下の操作を実行して下さい:
 - a. INPUT MIC 接続器によって、マイクを MIC800 に接続します。
 - b. 所有する拡声器を下げてください。
 - c. PHANTOM +48 V ボタンを押し、ファンタム電源をオンにしてください。
 - d. 何秒間待ち、幻相送電で蓄電器の容量の隔たりになって充電します。
- ⑰ SERIAL NUMBER (順列号):** MIC800 を登録する場合、オリジナル番号を使用してください。周波プラグに関する詳細に付き、[4. 周波接続](#)にご参照ください。

3. セットアップ

下の例で MIC800 がオーディオ装置に果たした役割を説明します:

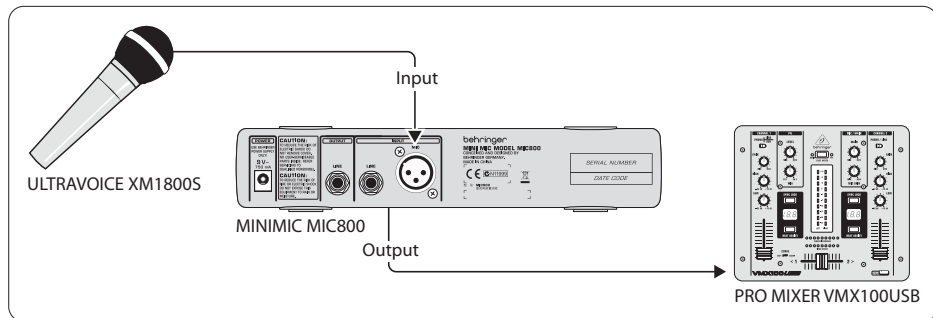


図 3.1: 装置の例

他の MINI 商品の設置に関する紹介

MIC800 は BEHRINGER 商品の MINI セット部分に属します。これらの商品で MIC800 を設置することが出来ます。詳細に付き、6. その他の MINI 商品ご参照ください。

4. オーディオ接続

本章ではマイクとそのほかのオーディオ装置を MIC800 のプラグに接続すること限りに詳しく説明します。

マイクに対する

マイクを MIC800 に接続すれば、バランス式 XLR プラグのマイクラベルを含めて使用してください。

下の図で MIC800 接続器 (入力) と相応の XLR プラグ (出力) について説明します:

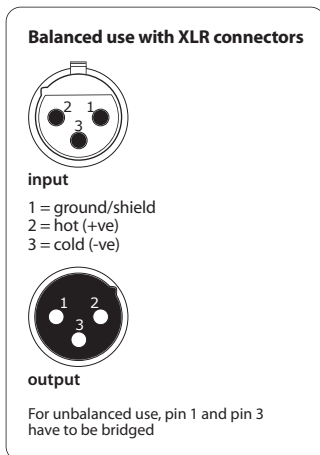


図 4.1 バランス式 XLR の接続コンセントとプラグ

JP

他のオーディオ装置に対する

楽器とそのほかのタイプの装置を MIC800 に接続する場合、 $\frac{1}{4}$ " TS または $\frac{1}{4}$ " TRS プラグをご使用ください。下の挿絵のりです。MIC800 接続器の詳細に付き、**2.3 裏パネル**をご参照ください。

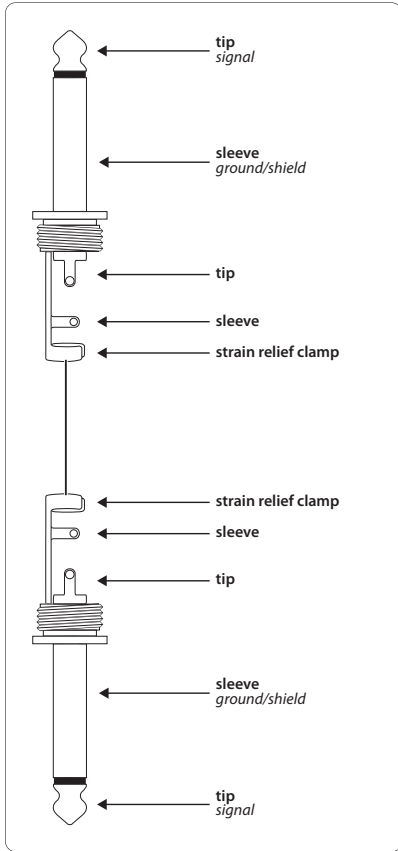


図 4.2 非バランス方式 $\frac{1}{4}$ " TS コンセントのプラグ

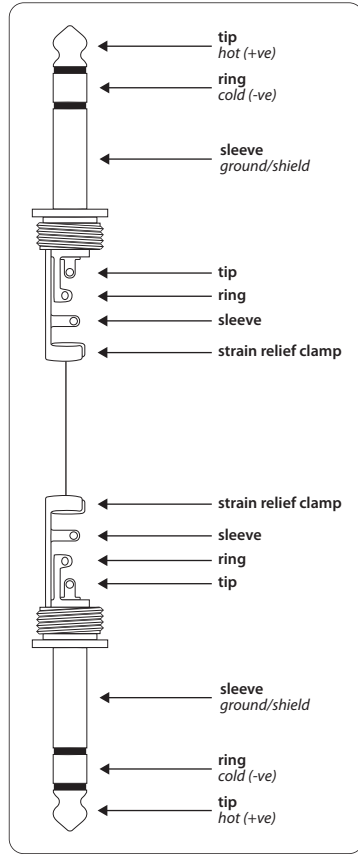


図 4.3 バランス方式 $\frac{1}{4}$ " TRS コンセントのプラグ

5. テクニカルデータ

Mic Input

タイプ	XLR 接続器 (バランス)
インピーダンス	約 2.6 k Ω (バランス)
最大出力レベル	-2 dBu, +18 dBu, 低音付き

Line Input

タイプ	1/4" TRS 接続器 (バランス)
インピーダンス	約 20 k Ω (バランス)
最大入力レベル	+19 dBu, +28 dBu, 低音付き

Output

タイプ	1/4" TS 接続器 (非バランス)
インピーダンス	約 130 Ω
最大出力レベル	+15 dBu

システムの規範

周波	マイク: 10 Hz~ 90 kHz, +3 dB 回路: 10 Hz~ 67 kHz, +3 dB
ダイナミックレンジ	100 dB, 20 Hz~ 20 kHz
ヒズミ	0.016% typ. @ -16 dBu 入力
信号騒音の比率 ¹⁾	86 dBu @ +4 dBu, a weighted

ボタン

PAD	20 dB
\emptyset (逆フェーズ)	180 度
幻パワー	+48 V

コントロール

INPUT GAIN	+26 dB~ +60 dB
LOW CUT	15~ 360 Hz
OUTPUT LEVEL	$-\infty$ dB~ 10 dB

電源

電源接続	外部電源 9 V~/ 750 mA
------	-------------------

電源電圧

米国 / カナダ	120 V~, 60 Hz
中国 / 韓国	220 V~, 50/60 Hz
欧州 / 英国 / オーストラリア	230 V~, 50 Hz
日本	100 V~, 50 - 60 Hz
一般輸出モデル	120/230 V~, 50 - 60 Hz
消費電力	5 W

寸法 / 重量

寸法 (高さ x 幅 x 奥行き)	約 48 x 120 x 243 mm (1.89 x 4.72 x 9.55")
重量	約 0.58 kg (1.28 lbs)

BEHRINGER 社は、最高品質水準の維持にむけた努力を常時おこなっています。必要とみなされた改良等は予告なくおこなわれますので、技術データおよび製品の写真が実物と多少相違することがあります。

6. MINI シリーズの他の商品

MINIMIC は BEHRINGER の Mini シリーズに属する商品です。該当シリーズに属する全ての 8 種類の商品が機能を果たせるため、簡単にご紹介させていただきます。

MINIFEX FEX800

スタジオやステージ向き超小型 9.5" ステレオ・マルチエフェクト・プロセッサー

- リバーブ、ディレイ、コーラス、フランジャー、フェイザー、ロータリースピーカー、ピッチシフターおよびマルチエフェクトなどの 24-bit/48 kHz 分解能による究極の FX プリセット 16 種
- 選択したプログラムを LED で表示する直感的 FX プリセットコントロール

MINIAMP AMP800

スタジオやステージ向き超小型 9.5" ヘッドフォン・アンプシステム

- 4 個の完全独立型ステレオ・ハイパワー・アンプセクション
- 大音量時にも最高品質の音響を維持

MINIMON MON800

スタジオやステージ向き超小型 9.5" モニタ・マトリクスミキサー

- 4 個の選択・ミキシング可能なステレオ入力を装備した入力専用セクション
- 正確な 6 桁 LED によるメインステレオ出力メーターで正確なレベル表示が可能に

MINIFBQ FBQ800

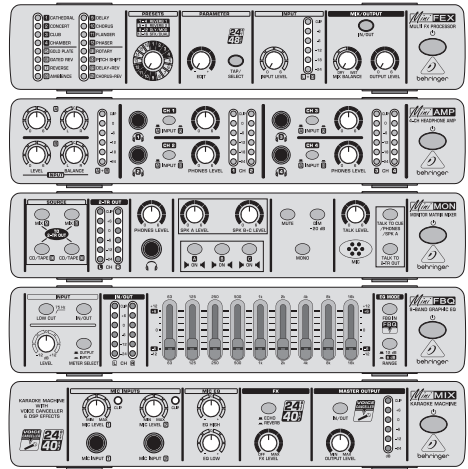
スタジオやステージ向き超小型 9.5" グラフィックイコライザー

- 革命的な FBQ フィードバック検知システムが問題となる周波数を即座に検出し、オーディオアナライザーとしても機能
- 追加ローカットフィルターが耳障りな周波数（床音など）を除去

MINIMIX MIX800

スタジオやステージ向き超小型 9.5" カラオケマシン

- 革命的なヴォイスキャンセラー。あらゆるステレオソースからヴォーカル音だけを効果的に消去
- 24-bit/40 kHz 分解能による内蔵型デジタル・エコー / リバーブプロセッサで究極のヴォーカル強化を



それぞれの MINI 製品が最高品質をお届けします



We Hear You